

■まちづくりの重点課題について

1) 子育て・教育分野

時代の潮流、社会情勢の変化 から見た課題	団体アンケートによる課題 (R6. 4～5)	総合計画審議会 審議員アンケートによる課題 (R6. 5～6)	市民ワークショップによる課題 (R5. 10～R6. 3)	市民からの意見・提言による 課題 (R6. 5～6)	市民意識調査・高校生アンケート調査による課題 (R5. 8)	課別課題 (R5. 12～R6. 5)
1. 人口減少と少子高齢化の進行 ➤ 学校の統廃合や学級縮小 ➤ 教育機会格差の拡大 ➤ 教育環境の整備 2. 安全・安心に対する意識の高まり ➤ 教育現場の安全確保の推進 ➤ いじめの防止、不登校児童生徒への対応 3. 持続可能な社会の構築 ➤ 教職員の働き方改革の推進 ➤ 子どもの貧困への対応 4. デジタル化の進展 ➤ デジタル・シティズンシップ教育の推進 ➤ 教育の I C T 化 5. グローバル化の進展 ➤ 次世代に求められる資質や能力の変化に対応した教育の推進 6. ライフスタイルや価値観の多様化 ➤ 仕事と子育ての両立支援 ➤ 子育ての負担や不安感の増加 ➤ 地域ぐるみで子どもを育むことができる環境づくり ➤ 子どもの居場所づくり ➤ 保育ニーズの多様化 7. 厳しさを増す地方財政 8. 経済情勢の変化	➤ 休日を過ごせる、箱ものではない文化的なものがあれば良いと感じる ➤ 保育分野の人材不足 ➤ 幼保小の連携接続が不足している ➤ 発達に課題を抱える子どもたちが増加している ➤ 虐待件数が増加している ➤ 父親の育児参加の推奨を今以上に行う必要があると思う ➤ 市として音楽文化の取り組みが不足している。関心を持って無いと感じる	➤ 高校生だけではなく、小中学校の頃から郷土愛の醸成を図る必要がある ➤ 図書館や文化施設などを新設し、文化力を高めると同時に、キャリア教育の推進を図るべき ➤ 子育て世帯が必要とする情報が取りやすいシステムづくりや市内の育児情報（育児サークル、親の会など）が網羅できる場の作成	➤ 市内に高校卒業後の進学先がない ➤ 教育的な外部活動（芸術、音楽、スポーツ）が少ない ➤ 娯楽施設が少ないので子どもや学生が過ごしにくい ➤ 保育園が不足している ➤ 文化施設が少ない ➤ 勉強できる場所が少ない ➤ 子どもが遊ぶ場所が少ない	➤ 他の市町村に比べて子育て支援が全然ない。子育て応援手当、出産、入学応援手当など他の市町村は色んな手当がある ➤ 子どもが遊べるパークのような所が欲しい ➤ 遊びランドみたいな全天候型公園が県北にはない ➤ 複合型支援センターで室内遊び場を作してほしい ➤ 進学する子どもが選ぶ教育（市外・私立への進学）の補助が必要では ➤ 学ぶ市民を助け、生涯学習を充実してほしい(幅広く支援してほしい) ➤ 年間を通して子どもが遊べる場所がない	➤ 子ども達がやってみたいことを試せる場所をたくさん作ってほしい ➤ 人が集まるように図書館を複合施設にしてほしい ➤ 公園、図書館、学校など、特に子どもが育つ過程で重要な施設の建設や整備を重視してほしい ➤ 市内の杜寺や史跡の情報を調べやすくしてほしい ➤ 東郷地域に放課後児童クラブがない ➤ 駐車場のある公園、プールなどを充実させ、子育てしやすいまちにしてほしい ➤ 子育て支援をもっと充実させてほしい。市民に十分周知されていない ➤ 市内の塾や習い事をホームページに掲載してほしい(塾や習い事について知る方法が少ない)	【こども課】 ➤ 保育士の事務負担の増加による離職、保育士不足により運営に支障が生じている施設がある ➤ 放課後児童クラブ開設について各学校の余裕教室が不足 ➤ 県から市へ泣き声通告、面前DV事案のケース送致が開始され、児童虐待の受理件数が増加 ➤ 子どもの貧困解消に向けた民間支援が広がる中、活動持続の体制確保や地域間での偏在が課題 【教育総務課】 ➤ 美々津伝建地区で地域活性化や空き家など後継者不足が課題 【学校教育課】 ➤ 小児生活習慣病の要管理・要観察・要指導と判定された児童生徒割合が増加傾向となっている ➤ 不登校の児童生徒が増加傾向、要因の多様化、複雑化 ➤ 特別支援学級や通級指導教室の在籍児童生徒が増加 【生涯学習課】 ➤ 放送大学の学生数が年々減少傾向にある ➤ 地域の大人と子どもと一緒に活動を行う「地域教育力活性化推進事業」の申請団体の固定化、件数の横ばいが続いている 【スポーツ・文化振興課】 ➤ 市美展等の芸術文化事業で参加者の固定化、閲覧者数伸び悩み 【図書館】 ➤ コロナ禍以降、離れた利用者が戻っていない

■まちづくりの重点課題について

2) 健康・福祉分野

時代の潮流、社会情勢の変化から見た課題	団体アンケートによる課題 (R6. 4～5)	総合計画審議会 審議員アンケートによる課題 (R6. 5～)	市民ワークショップによる課題 (R5. 10～R6. 3)	市民からの意見・提言による課題 (R6. 5～6)	市民意識調査・高校生アンケート調査による課題 (R5. 8)	課別課題 (R5. 12～R6. 5)
1. 人口減少と少子高齢化の進行 ➤ 超高齢社会への対応 ➤ 地域共生社会の推進 ➤ 健康寿命の延伸 ➤ 医療体制の充実 2. 安全・安心に対する意識の高まり ➤ 新たな感染症の蔓延 ➤ バリアフリーの推進 ➤ 障害福祉サービスの充実 3. 持続可能な社会の構築 ➤ 高齢者の生活支援と介護予防 ➤ 介護者の負担軽減 ➤ 介護保険制度の安定運営 4. デジタル化の進展 ➤ スマート介護の推進 ➤ ICTを活用したコミュニケーション支援 5. グローバル化の進展 6. ライフスタイルや価値観の多様化 ➤ 生活習慣病や認知症、心の病気などが増加 ➤ 高齢者、障がい者の社会参加 ➤ 地域の福祉力向上 7. 厳しさを増す地方財政 ➤ 社会保障関係費の増大 8. 経済情勢の変化	➤ 医療や介護に係る社会保障費を抑制してほしい ➤ 子どもからおとなまで市民が生涯をできるだけ健康に暮らしていくためにも、スポーツが寄与できる部分は大きいと感じる ➤ 子育て世帯にとっては、病児保育が充実すると安心		➤ 医師不足 ➤ 市内に産科が1つしかない ➤ 出産できる病院が限られる ➤ 病院が少なくて混雑している ➤ 小児科が少ない ➤ 高齢者の移動手段が不足している		➤ 全国的に子どもや若い世代の支援が手厚くなるのは理解するが、高齢者にはこれといった対策はあまり感じられない。あらゆる世代が納得のいく対策をしてほしい ➤ 都市圏よりも健康な高齢者が多いと思うので医療や介護に力を入れたほうが良いと思う ➤ 低年金者への対策が必要 ➤ 障がい者が出かけやすい場所をもっと多く作ってほしい	【健康増進課】 ➤ 医師の高齢化、医師少数県である宮崎県の中でも特に医師の数が少ないため、かかりつけ医の不足が懸念される ➤ 令和6年から医師に対しても働き方改革が適用され、医療現場で必要とされる医師の数が現在より多く見込まれるなど、これまで以上に医療人材の確保が困難 ➤ 特定健康診査受診率は、微増傾向にあるが目標値に達しておらず、特に40～50 歳代の受診率が低い 【高齢者あんしん課】 ➤ 高齢者の介護予防に関するボランティア人材の確保と育成が課題 ➤ 介護サービス事業所の人材が不足している 【福祉課】 ➤ 手話奉仕員養成講座の受講申込者数、市民手話講習会の開催数減少が顕著

■まちづくりの重点課題について

3）産業・交流分野

時代の潮流、社会情勢の変化から見た課題	団体アンケートによる課題 (R6. 4～5)	総合計画審議会 審議員アンケートによる課題 (R6. 5～)	市民ワークショップによる課題 (R5. 10～R6. 3)	市民からの意見・提言による課題 (R6. 5～6)	市民意識調査・高校生アンケート調査による課題 (R5. 8)	課別課題 (R5. 12～R6. 5)
1. 人口減少と少子高齢化の進行 ➤ 事業承継問題 ➤ 若者人材の確保 ➤ 1次産業の担い手育成 2. 安全・安心に対する意識の高まり ➤ 安全で安心な農畜産物の供給 ➤ 安全で良質な水産物の供給 3. 持続可能な社会の構築 ➤ 安定した雇用の確保 ➤ 滞在型観光の推進 4. デジタル化の進展 ➤ あらゆる産業のスマート化への支援(中小企業支援) ➤ スマート農林水産業の促進 ➤ デジタル技術の導入による働き方改革の促進 5. グローバル化の進展 ➤ 経営基盤の安定化 ➤ インバウンド誘客への対応 ➤ 物価高騰への対策 ➤ 国際的な都市間競争 6. ライフスタイルや価値観の多様化 ➤ 地域への愛着や誇りの醸成 ➤ 働き方の多様化 7. 厳しさを増す地方財政 8. 経済情勢の変化 ➤ 生産性向上と労働環境整備 ➤ 多様な働き方の実現	➤ 労働者の人材不足 ➤ 市内だけでは労働者が確保できず、外国人を登用している ➤ 経営を担える人材の確保 ➤ 高校生の地元定着 ➤ コロナ禍によりスポーツ人口が減少し、子どもの体力が低下している ➤ スポーツ指導者の確保と育成 ➤ 各競技団体役員や会員の高齢化により競技団体の存続が危惧される ➤ 児童数の減少によりスポーツ少年団数が減少し今後の存続が課題 ➤ 部活動の地域移行化に伴う受け入れ体制の構築 ➤ スポーツ施設の老朽化、広さ・設備不足等により大会運営が困難 ➤ 子どもから大人まで市民が生涯をできるだけ健康に暮らしていくためにも、スポーツが寄与できる部分は大きいと感じる ➤ 体育センターの床の状態が悪い ➤ 日向市の魅力発信不足。若手人材の教育、発掘 ➤ 観光は景色や食べ物だけでなく、「触れ合い」が観光化できないか	➤ 「『稼ぐ自治体へ』ふるさと納税徹底強化」に注力するという点で「地域商社」の設立を選択肢の一つに挙げてはどうか ➤ 市内の子どもたちの地元就職等の促進が必要 ➤ 市内の子どもたちが高校や大学への進学、就職を機会に転出し、戻ってこない現状を改善することが急務ではないか ➤ 小規模事業者の事業継続に向けた支援、効果的な地域振興策による地域活性化が課題 ➤ 商工行政において地域の現状に即した即効性のある施策が求められている ➤ 創業支援の予算拡充	➤ 学校卒業後の就職先がない ➤ 学生が社会的な経験を積む機会が少ない ➤ 賃金が低い ➤ 自然環境は他の市町村と比べて素晴らしいが、産業化につながっていない ➤ プロ野球球団のキャンプができる施設がほしい ➤ サーフタウンなのに地元のサーフィン人口が少ない ➤ 産業・工業振興を図り、高校卒業後の就職先を確保してほしい ➤ 市内でイベント開催が多いが参加する市民が少ない ➤ ホテルなどの観光客向けの宿泊施設が少ない ➤ 観光スポットを活かした他県への宣伝が足りない	➤ 市を発展、アピールする上で道の駅を有効活用してほしい	➤ 子どもがバスケのできるところが少なく、雨の日の活動が限られる ➤ 就職先が少ないので都会に行ってしまう ➤ 特徴ある魅力を引き出せる産業育成。自然豊かな地形を利用した観光イベントの充実 ➤ サイクリング、トライアスロンなどのスポーツイベントがない	【商工港湾課】 ➤ 深刻な人材不足、最低賃金上昇、物価高騰により収益悪化している事業者が増加 ➤ 新たな工業用地の確保 ➤ RORO 船の関東航路休止など貨物量集荷が課題 ➤ コンテナ蔵置施設の老朽化、船舶の大型化にガントリークレーンが対応できていないなど、施設の維持管理・更新が遅れており、要望が上がっている 【観光交流課】 ➤ 市内観光入込客数がコロナ禍前の水準に回復していない ➤ サッカー等の新たなスポーツキャンプ誘致の検討 【スポーツ・文化振興課】 ➤ 日向ひよっとこマラソン大会の参加者減少 ➤ 国スポ・障スポ大会で、現有施設の状態運営に支障をきたすところもある ➤ お倉ヶ浜総合公園、大王谷運動公園の大規模改修が未実施 【農業畜産課】 ➤ 就農相談件数や新規就農者が減少傾向、荒廃農地が増加傾向 ➤ 燃油や資材、物流コストの高止まりによる経営圧迫化 ➤ 肉用牛生産者の担い手が減少 【林業水産課】 ➤ 林業就業者、有害鳥獣捕獲班員、しいたけ生産者、漁業者の高齢化により担い手が不足している ➤ 素材生産が活発化する反面、伐採後の再造林が課題 ➤ 平岩地区の藻場が回復傾向にあるがメンバーが高齢化している ➤ カワウの増加によりアユ等への食害が懸念される

■まちづくりの重点課題について

4）生活環境分野

時代の潮流、社会情勢の変化から見た課題	団体アンケートによる課題 (R6. 4～5)	総合計画審議会 審議員アンケートによる課題 (R6. 5～)	市民ワークショップによる課題 (R5. 10～R6. 3)	市民からの意見・提言による課題 (R6. 5～6)	市民意識調査・高校生アンケート調査による課題 (R5. 8)	課別課題 (R5. 12～R6. 5)
1. 人口減少と少子高齢化の進行 ➤ 交通事故抑止 ➤ 消防団員の確保 2. 安全・安心に対する意識の高まり ➤ 気象災害の頻発化・激甚化 ➤ 浸水被害の軽減 ➤ 地域防災力の向上 ➤ 防災意識の向上 3. 持続可能な社会の構築 ➤ エシカル消費の推進 ➤ 水道施設の耐震化 ➤ 持続可能な水道経営 ➤ 生活排水対策 ➤ 循環型社会の構築 ➤ 生物多様性の保全 4. デジタル化の進展 ➤ デジタル技術を活用した避難所運営 ➤ デジタル技術を活用した環境データの可視化 ➤ 消費者トラブルの増加 5. グローバル化の進展 ➤ 温室効果ガスの排出抑制 6. ライフスタイルや価値観の多様化 ➤ 契約トラブルや特殊詐欺被害 7. 厳しさを増す地方財政 ➤ 上下水道事業の経営安定化 8. 経済情勢の変化	➤ 行政や地域主体の海岸の清掃活動の情報が回ってこず、うまく連携が取れていないと感じる ➤ 避難所設営が妊婦や小さな子ども連れ世帯、高齢者等の差別化ができるようになっているのか	➤ 市の自然をベースにした魅力の発信を活かされていない ➤ ごみ回収を有料化、ごみ袋を記名式とし、その費用でネットを被せるのではなく箱物の設置をすることでカラス対策をしてほしい ➤ 台風時の避難所について、早めの避難なら良いが天候が悪化してきたときに移動し避難するには不適なところが多く、再考の必要があると感じている	➤ ごみの分別がまだできていない。環境への取組を再考してほしい ➤ 環境美化に意欲的な人が少ない ➤ 有名な海岸は綺麗だが、あまり知られていない海岸は汚れている	➤ 処分される犬猫をなくしたい。避妊去勢や保護活動の支援を日向市と共に、いつでも気軽に寄付できる場所やサイトがあるといい	➤ 市街地でないところにも街灯や明るい場所をつくる ➤ 不審者などの目撃情報などが多発する時期もあるので裏道などの暗い道にも街灯をなるべく多く設置すると女性も安心できるのではないか	【環境政策課】 ➤ 直近の1人1日当たりのごみ排出量は増加しており、資源化率が下がっている ➤ 家庭や事業者からの不適正なごみの排出、不法投棄が依然として見受けられる ➤ クリーンアップ日向参加者の高齢化が目立つ ➤ 大量の海岸漂着物の撤去がなされていない場所がある 【市民課】 ➤ 通信販売や訪問販売のトラブルの相談、高齢者を狙った悪質商法が後を絶たない ➤ 墓地について、墓の跡継ぎがいない等の理由から無縁化、適正管理ができなくなる 【消防本部】 ➤ 消防団員が減少傾向で特に南部地区や東郷地区では団員確保が困難 【下水道課】 ➤ 合併浄化槽の老朽化に伴う更新への支援 【下水道課、農業畜産課】 ➤ 人口減少に伴う使用料の減少と老朽化対策費用増大により経営環境が厳しくなる

■まちづくりの重点課題について

5）社会基盤分野

時代の潮流、社会情勢の変化 から見た課題	団体アンケートによる課題 (R6. 4～5)	総合計画審議会 審議員アンケートによる課題 (R6. 5～)	市民ワークショップによる課題 (R5. 10～R6. 3)	市民からの意見・提言による 課題 (R6. 5～6)	市民意識調査・高校生アンケート調査による課題 (R5. 8)	課別課題 (R5. 12～R6. 5)
1. 人口減少と少子高齢化の進行 ➤ 生活に必要な移動手段の確保 ➤ 空き家問題 ➤ 都市機能の低下 2. 安全・安心に対する意識の高まり ➤ 道路整備・橋梁の長寿命化 ➤ 災害に強い道路づくり ➤ 住み続けられる住環境の整備 ➤ 木造住宅の耐震化 3. 持続可能な社会の構築 ➤ 公共交通の維持確保 ➤ 持続可能な都市経営の実現 ➤ 公園施設の更新 4. デジタル化の進展 ➤ デジタル基盤の整備と運用 5. グローバル化の進展 ➤ デジタル分野（基盤整備）における国際連携 6. ライフスタイルや価値観の多様化 ➤ 自然と調和した景観の形成 ➤ 公園に対する住民ニーズの多様化 7. 厳しさを増す地方財政 ➤ 公共施設の保有総量の抑制 8. 経済情勢の変化 ➤ デジタルを活用した地域課題の解決	➤ 住まいに問題を抱える住宅確保要配慮者が増加傾向にある ➤ 民間賃貸住宅では住宅確保要配慮者に対して入居敬遠の傾向が見られ、公営住宅についても老朽化が著しく難しい ➤ 空き家の増加によるコミュニティの希薄化や街の空洞化が進行している	➤ ぷらっとバスとA I を利用したオンデマンド化により自宅からバス停まで歩くことが困難な方が自宅から利用できる	➤ 免許返納後の生活が不安だが公共交通が不便 ➤ 空き家が多い	➤ 市役所周辺の道路がガタガタしていて、車で通っていてもきつい ➤ 空き家の有効活用として保護猫カフェへの改装・運営や高齢者の認知症抑制としてのコミュニティ施設、海外からの研修生や市内企業従業員の貸家として活用してはどうか	➤ 平岩地区は市街化調整区域となっているが人口減少の1つの要因となっているのでは ➤ 農業従事者の高齢者もあり、市街化調整区域の見直しを今一度考えてほしい ➤ もっとコンパクトな都市設計を描き、効果的、効率的なまちづくりをしてもらいたい	【建設課】 ➤ 高齢化の進展等により、市民協働による市道の維持管理がより困難になってきている 【市街地整備課】 ➤ 老朽化している公園施設の修繕・更新費用の増大 ➤ 公園・緑地の管理において、高齢化や自治会(区)加入者の減少により、地元区民による維持管理が困難 ➤ 高齢化や後継者不足による活動の継続が難しい景観まちづくり活動団体がある 【建築住宅課】 ➤ 市営住宅の老朽化が進んでおり、改修工事の周期や耐用年数を迎える住棟が多い ➤ 市営住宅の空き住戸が多い ➤ 適正に管理されていない空き家の苦情が多い 【林業水産課】 ➤ 地籍調査では土地所有者の高齢化や土地の相続により、所有地の現状を把握することが年々難しくなっている 【総合政策課】 ➤ 市民バス利用者がコロナ禍前の利用者に戻っていない ➤ 宮崎交通路線バス、JR 九州等の公共交通機関もコロナ禍前の利用者に戻っていない

■まちづくりの重点課題について

6）人権・市民協働分野

時代の潮流、社会情勢の変化から見た課題	団体アンケートによる課題 (R6. 4～5)	総合計画審議会 審議員アンケートによる課題 (R6. 5～)	市民ワークショップによる課題 (R5. 10～R6. 3)	市民からの意見・提言による課題 (R6. 5～6)	市民意識調査・高校生アンケート調査による課題 (R5. 8)	課別課題 (R5. 12～R6. 5)
1. 人口減少と少子高齢化の進行 ➤ 女性が活躍できる環境整備 2. 安全・安心に対する意識の高まり ➤ DV対策の充実 3. 持続可能な社会の構築 ➤ 市民と行政、双方向の情報共有 ➤ 自治会（区）加入率の低下 ➤ 担い手の固定化 4. デジタル化の進展 ➤ デジタル・シティズンシップの推進 ➤ 情報発信手段の多様化 ➤ 自治体DXの推進 5. グローバル化の進展 ➤ 外国人材の受け入れ ➤ 外国人との共生 6. ライフスタイルや価値観の多様化 ➤ 人権問題への取組 ➤ 固定的な性別役割分担意識 ➤ 地域コミュニティの希薄化 ➤ 市民ニーズの複雑・多様化 ➤ 結婚や出産の希望の実現 7. 厳しさを増す地方財政 ➤ 社会保険制度の安定的な運営 ➤ 産官学連携 8. 経済情勢の変化	➤ 転入増加のための施策を増やしてはどうか（都城市のように大規模な移住支援金の支給など）	➤ 区加入率の低下、高齢化から各区役員不足から各区の解散が課題 ➤ 地区の活動（祭りや清掃活動等）に子どもたちが参加する環境づくりが必要ではないか。地域との交流が減っていると感じる ➤ 移住支援の予算拡充	➤ どんな市民活動が行われているかを知っている人が少ない ➤ 市内でイベント開催が多いが参加する市民が少ない	➤ 外国人就労特区を活用し、人口増加, 税収増加、多民族、多様文化のリラックスタウンを実現しては ➤ 地域の課題は地域の中で、市民による判断と責任において解決していくための仕組みづくりに取り組む必要があると思う	➤ 地域の活性化に必要な自治会（区）への支援体制を強化し、集落機能の持続か、安心安全な居住環境の構築、市街地と中山間地域の格差是正に努めてほしい	【地域コミュニティ課】 ➤ 人権・同和教育に関する市民向け講演会について、参加者数の伸び悩みや参加者層の固定化が課題 ➤ DV被害相談件数が増加傾向 ➤ 日中関係の悪化やコロナ禍の影響等により相互交流の機会が減少しており、友好都市に対する市民の関心が低下している ➤ ひまわり塾参加者が少なく、参加しやすい事業へと見直す必要がある ➤ 市民活動支援センターの登録団体の高齢化等により、センターの利用者数が年々減少してくることが予想される 【総務課】 ➤ 被爆体験講話の被爆体験者の高齢化に伴い、長距離移動に伴う講師の身体的負担等が課題 ➤ 被爆体験講話について、近年は毎年2校ずつしか開催できず、3年間で市内7中学校を一巡できない（中学校在学中に1回も講話を聴くことができない）状況があります。 【総合政策課】 ➤ 女性が働きやすい職場環境の構築、従業員の意識向上が課題 ➤ 移住者のフォローアップを強化し移住者の定着促進を図る必要がある 【東郷地域振興課】 ➤ 地域を支える人材が不足するなど、機能維持が困難になりつつある集落が増加 【秘書広報課】 ➤ 市長と市民の座談会について、若い世代の参加が少ない